



議会報

かいかべ

第95号

平成15年 5月15日



紙飛行機づくり、多くの親子が参加しました。
(児童館 4月2日)



遊戯室で楽しい時間を過ごす子供たち
(子育て支援センター)

3月定例会 平成15年度予算総額77億2,201万円	2
可決案件 川辺町第三保育所及び児童館設置条例の制定	4
美濃加茂市・加茂郡町村法定合併協議会設立される	5
一般質問 6氏11項目を質問	6
編集後記	12

3月 定例会 (3月5日～20日)

平成15年度予算総額

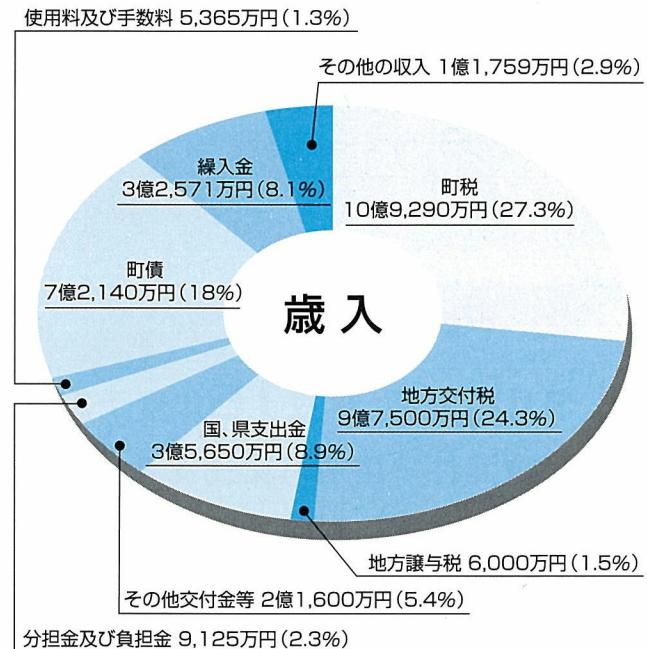
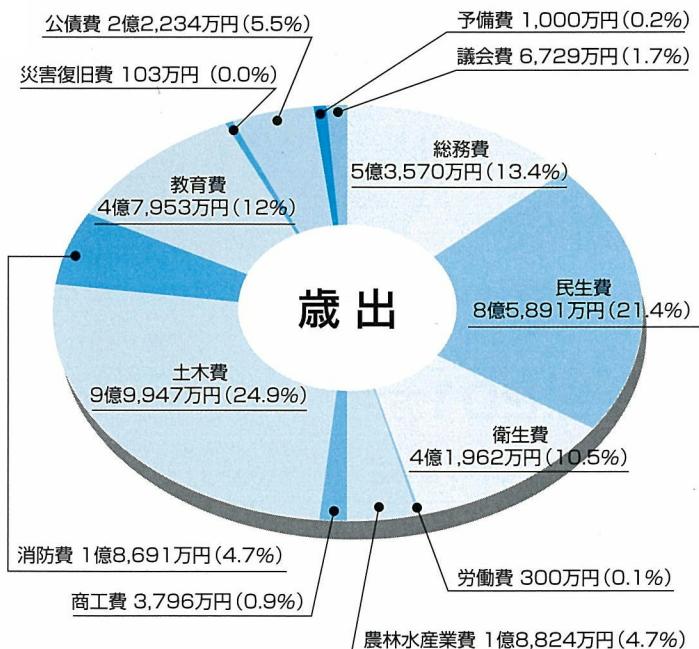
七七二,二〇一万円
を議決

一般会計40億1000万円 (前年度に対して21.4%の減)
特別会計総額37億1201万円

平成15年度予算、児童館の設置条例の制定、選挙公報の発行に関する条例など35議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。

また、追加案件として美濃加茂市・加茂郡町村合併協議会の設置についてほか1件の案件についても審議し可決しました。

■一般会計■



主　な　事　業	
議会費	議会運営経費 5,045 万円
総務費	県議会、町議会選挙費 1,273 万円 戸籍電算化事業 1,552 万円 郵政官署事務委託事業 124 万円 チャイルドシート補助事業 84 万円 市町村合併協議会負担金 500 万円 庁舎内ラン管理費 2,406 万円
民生費	痴呆対応型共同生活介護施設(グループホーム)整備事業 1,940 万円 障害者福祉支援事業 10,773 万円 第三保育所等・児童館運営委託事業 6,264 万円 地域子育て支援センター事業 264 万円 第一、第二保育所冷房施設設置工事 2,620 万円 やすらぎの家改修工事 1,719 万円
衛生費	前立腺ガン検診事業 160 万円 高齢者インフルエンザ予防接種費 525 万円 母子衛生事業 383 万円 健康づくり推進事業 115 万円 ごみ分別収集処分事業費等 10,696 万円 合併処理浄化槽設置補助金 664 万円
労働費	労働者生活資金融資事業 300 万円
農林水産業費	農地台帳システム導入事業 777 万円 水田農業経営確率対策事業(米の生産調整) 471 万円 有機農法推進事業 248 万円 資源循環型農業推進事業 78 万円 木曽川右岸用水土地改良事業 2,852 万円 農道整備事業 2,878 万円 かんがい排水整備事業 1,108 万円 間伐作業道整備事業 580 万円 集落環境保全整備事業 617 万円
商工費	町小口融資事業 2,042 万円 川辺おどり協賛補助事業 400 万円 ふれ愛まつり補助事業 350 万円 商工会補助事業 650 万円 商品券発行事業補助 200 万円
土木費	川辺ダム湖周辺整備事業 28,094 万円 山川橋整備基金積立金 4,000 万円 木造住宅耐震診断助成事業 20 万円 道路新設改良事業等 17,194 万円 町道維持修繕事業 10,812 万円 川辺西タウン周辺整備工事 2,700 万円 水力発電施設周辺地域交付金事業 1,600 万円 交通安全施設整備事業 967 万円
消防費	西柄井・下川辺消防コミュニティセンター建設工事 1,731 万円 防災備蓄倉庫整備事業 369 万円
教育費	中学校屋内運動場改築工事設計委託料 1,080 万円 小学校校内ラン整備事業 1,587 万円 土曜教室開設事業 279 万円 北部公民館(仮称)建設事業 9,539 万円 緊急雇用対策事業(学校教育支援講師) 560 万円
公債費	町債の償還金

■ 特別会計 ■

予 算 額		予 算 額	
国民健康保険事業特別会計	<u>7億 4,400</u> 万円	農業集落排水事業特別会計	<u>3,720</u> 万円
老人保健特別会計	<u>10億 4,900</u> 万円	介護保険特別会計	<u>4億 7,400</u> 万円
学校給食共同調理場特別会計	<u>5,538</u> 万円	水道事業会計	<u>4億 0,693</u> 万円
下水道事業特別会計	<u>9億 4,550</u> 万円		

人事案件

▲人権擁護委員の推薦

平岡淳一氏が適任と答申しました。（再任）

住所

川辺町比久見569番地1

任期 平成18年6月30日まで

▲固定資産評価審査委員会補欠委員の選任

委員の欠員による補欠委員に垣下公子氏

を承認しました。

住所

川辺町中川辺17番地

任期 平成17年2月7日まで

可決案件

▲専決処分の承認

平成14年度一般会計補正予算（専決第3号）

西小学校トイレを身体障害者用に改修するための事業費

を専決処分しました。

▲法定外公共物の管理条例の制定

地方分権により町の事務とされた、里道（赤道）、水路（青線）等の管理にかかる条例の制定をしました。

▲選挙公報の発行に関する条例の制定

町議会議員、町長の選挙において候補者の氏名、経歴、政見など広く選挙人に周知できるよう選挙公報の発行をするための条例の制定をしました。

▲児童館の設置及び管理条例の制定

比久見地内の第三保育所に併設された、児童館の設置規

定と、その管理運営を町社会福祉協議会へ委託するための条例の制定をしました。

▲福祉医療費助成に関する条例の一部改正

外来の薬剤一部負担金がなくなったことに伴い、福祉医療費助成対象の薬剤一部負担金を廃止しました。

▲保育所の設置及び管理条例の一部改正

新たに建設された、第三保育所の設置と、その管理運営を社会福祉法人上米田福祉会へ委託するための規定を定めました。

▲国民健康保険条例の一部改正

國民健康保険の退職被保險者本人及び退職被保險者扶養親族の入院にかかる一部負担金を2割から3割とする改正をしました。

▲平成14年度下水道事業特別会計の繰入金の変更

受益者負担金、国県補助金、繰越金の増により一般会計からの繰入金を4825万円減額しました。

▲平成14年度農業集落排水事業特別会計の繰入金の変更

歳入で補償費収入の増により一般会計からの繰入金を629万4000円減額しました。

▲平成14年度一般会計補正予算（第6号）

歳入歳出それぞれ3億3391万円を減額しました。主な内容は、川辺西タウン建設事業費、第三保育所及び児童館の建設事業費の確定による減額をしました。

▲平成14年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）

1号被保険者（65歳以上）の介護保険料を基準月額2260円から2400円としました。歳入歳出それぞれ5357万5000円を減額しました。



完成した川辺町第三保育所・児童館の一般開放（4月1日）

一般質問

そこが聞きたい 知りたい

定例会の3月19日、6名の議員が質問に立ち、11項目にわたり町政をただしました。

質問と答弁の内容は次のとおり。



牧田富朗議員

はどのように行われているのか尋ねる。

対応できない状況になれば県と協議する。雨量計を設置し観測している。

治山えん堤の堆積物の浚渫と雨量計の設置、

【牧田議員】治山、砂防えん

堤は町内の河川に196基も造られている。比久見や下吉

田の坂の洞川、尾賀野川にあるえん堤も大部分が土砂や岩石等で満杯に埋まっている。

豪雨の時に土石流による下流での災害発生が心配である。

林地の保全と、えん堤に堆積している土砂等を浚渫する必要はない。

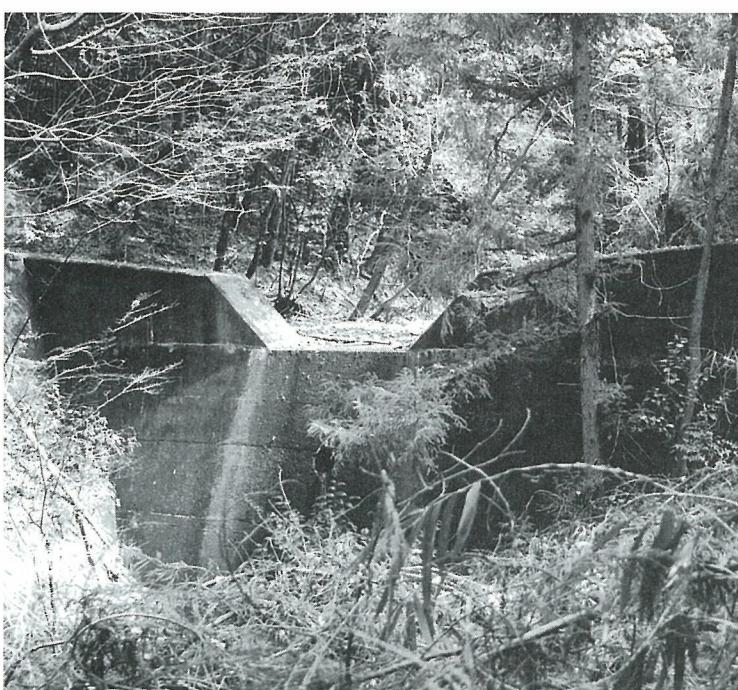
また、大雨による災害防止のために雨量計の設置が義務づけられているが、雨量観測

【高井基盤整備課長】町内山

林には多くのえん堤がある。治山事業と砂防事業で建設したものがあり、それぞれの目的によって建設されている。

治山事業のえん堤は山林を守るために、砂防事業のえん堤は下流域への土砂等の流出を抑制し、人的災害を防止するため、県が主体で事業を実施している。

山林を守る治山えん堤は、山腹崩壊等で流出した土砂等をえん堤によつて落ち着き、安定した状態にすることが目的で、これを取り除くことは周囲が不安定になり危険な状態になる恐れがあるため、浚渫は原則的には行わない。



砂防えん堤（比久見地内）

期の降雨時に流下し、災害を起こす恐れのある場合か、新たな災害発生の懼れに対応するため、治山えん堤の新設や山腹工事の実施等再整備と併せて行うときに限られる。質問のえん堤は現場確認したが、まだ余裕もあり、浚渫等を行わないと即災害につながることは考えにくい状況で

【高木経営管理課長】川辺町
地内の雨量の観測については、町が設置した雨量計が1基、県、中部電力が設置した雨量計がそれぞれ1基の計3基が設置

ある。既存のえん堤で対応できない状況になれば、県と協議を進めていくことになる。

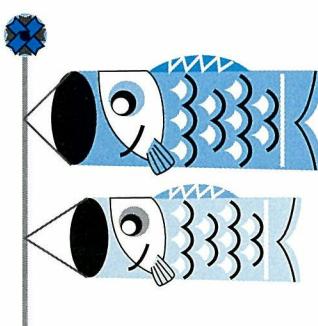
なお、15年度に南陽寺林道関係地内で、県による環境防災林整備治山事業で護岸工とえん堤の建設を検討している。



この時の雨は 何ミリ!?

- (1) 職員が警戒を告知し、職員が警戒態勢をとるようになつて、集中豪雨や災害等の恐れのあるときは、防災無線により町民に警戒を知らせることとしている。
- (2) 県が設置している雨量計は、観測データーが直接県に送られ、インターネットを通じて情報が随時公表されており、パソコンで、手軽に見ることができるようになつていています。
- (3) 職員の他町村との人事交流。

2点目の地域担当職員制度について、職員の他町村との人事交流。



【佐藤町長】女性が参加している団体、委員会等は、府内各課にまたがっており、これらを一つにまとめて「女性対策室」とすることは、行財政改

されていて、それぞれ雨量観測を行つていて。町が設置した雨量計は、24時間観測を行つており、時間雨量を観測し、プリントアウトして知らせ、時間雨量が30ミリを超えると警報装置が作動して、警戒を告知し、職員が警戒態勢をとるようになつて、集中豪雨や災害等の恐れのあるときは、防災無線により町民に警戒を知らせることとしている。

県が設置している雨量計は、観測データーが直接県に送られ、インターネットを通じて情報が随時公表されており、パソコンで、手軽に見ることができるようになつていています。

- (1) 職員の研修等について、次の3点を提言するが、考えを問う。
- (2) 地域担当職員制度の導入をし、住民と行政との風通しを良くする。
- (3) 職員の他町村との人事交

されていて、それぞれ雨量観測を行つていて。町が設置した雨量計は、24時間観測を行つており、時間雨量を観測し、プリントアウトして知らせ、時間雨量が30ミリを超えると警報装置が作動して、警戒を告知し、職員が警戒態勢をとるようになつて、集中豪雨や災害等の恐れのあるときは、防災無線により町民に警戒を知らせることとしている。

町職員の資質と研修制度のあり方を問う

町民から信頼されるよう資質向上に努める

【牧田議員】合併問題も具体化されてきたが、合併とともになれば広域人事等専門性が問われることとなつてくることから、職員もさらなる研修で能力の向上が不可欠であるが、職員に望むことは、「地元を知り、人を知ること」、「担当事務に責任を持つこと」、「服装を公務員らしくすること」、「自分の資質向上のために資格や技能の取得に挑戦すること」である。

職員の研修等について、次の3点を提言するが、考えを問う。

職員の研修等について、企業への短期派遣、町づくりのための研修視察。

(1) 社会体験研修として、企業への短期派遣、町づくりのための研修視察。

(2) 地域担当職員制度の導入をし、住民と行政との風通しを良くする。

(3) 職員の他町村との人事交流。

【近田助役】町民から信頼される職員となるため、昨年から、「まごころ行政サービス運動」を実施している。その中で来庁者はお客様であるという意識を徹底するため、接遇マニュアル、あるいは電話対応マニュアルを作成し、実践に努めている。徐々にではあるがその成果が現れてきていると思っている。

職員研修については、毎年職員研修計画を策定し、職員の資質向上に努めている。14年度は職務階層別研修に29人延べ60日、実務研修に19人延べ36日派遣している。また、そのほか専門研修に参加して専門知識の検収に努めている。質問1点目の社会体験研修制度の導入は、保育士の一部ではあるが、異業種派遣研修として研修に参加している。一般職については派遣時期、期間、受け入れ先といった解決すべき課題も多くあり、今後十分検討していきたい。

【近田助役】町民から信頼される職員となるため、昨年から、「まごころ行政サービス運動」を実施している。その中で来庁者はお客様であるという意識を徹底するため、接遇マニュアル、あるいは電話対応マニュアルを作成し、実践に努めている。徐々にではあるがその成果が現れてきていると思っている。

職員研修については、毎年職員研修計画を策定し、職員の資質向上に努めている。14年度は職務階層別研修に29人延べ60日、実務研修に19人延べ36日派遣している。また、そのほか専門研修に参加して専門知識の検収に努めている。質問1点目の社会体験研修制度の導入は、保育士の一部ではあるが、異業種派遣研修として研修に参加している。一般職については派遣時期、期間、受け入れ先といった解決すべき課題も多くあり、今後十分検討していきたい。

【近田助役】町民から信頼される職員となるため、昨年から、「まごころ行政サービス運動」を実施している。その中で来庁者はお客様であるという意識を徹底するため、接遇マニュアル、あるいは電話対応マニュアルを作成し、実践に努めている。徐々にではあるがその成果が現れてきていると思っている。

職員研修については、毎年職員研修計画を策定し、職員の資質向上に努めている。14年度は職務階層別研修に29人延べ60日、実務研修に19人延べ36日派遣している。また、そのほか専門研修に参加して専門知識の検収に努めている。質問1点目の社会体験研修制度の導入は、保育士の一部ではあるが、異業種派遣研修として研修に参加している。一般職については派遣時期、期間、受け入れ先といった解決すべき課題も多くあり、今後十分検討していきたい。

【佐伯議員】山岡町では、役場の組織として平成7年から「女性対策室」を設置し、女性団体や女性が参画できる団体を一括して指導助言した結果、町民の意識が変わり女性の積極性も出てきたと聞いている。当町にも「女性対策室」の設置はできないか。

役場に女性対策室の設置はできないか



佐伯陽子議員

革で9課を6課に整理統合し
た流れに逆行する。

また、現在それぞの課で

女性が参加している団体、委員会等の事業推進に特に大きな問題も起きていない。

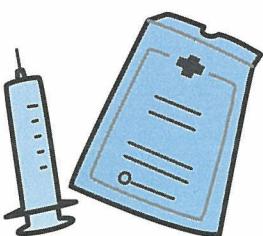
現時点では合併を念頭入れなければならぬ時期でもあります。機構改革により、新たに「女性対策室」を設置することは考えていない。

【佐伯議員】 今年はインフルエンザが猛威をふるい発病者が増え、予防接種の効果に期待するところが大きいが、接種回数は2回が必要と聞いています。町が実施している1回だけで効果があるのか。

また、1回では効果がないとすれば、2回の実施をすることが公費の有効な使い方で

【赤坂住民課長】 厚生科学研究によるインフルエンザワクチンの効果に関する研究によると、65歳以上の高齢者に対するインフルエンザワクチニ回接種法による有効性の評価を行った結果、接種を行つた後の免疫の付き方は良好で、接種回数は1回で十分との結果が出ている。

1回接種での発病阻止効果は45%前後、重症化は十分に阻止することが可能で死亡に対する予防接種効果は82%である。



インフルエンザ注意のパンフレット

高齢者インフルエンザ 予防接種補助制度の拡充を

あると思うが考え方伺う。

1回の予防接種で十分に抵抗力がつく



安田昌次議員

財源の拡充・確保対策は

避けられるのか、当町として問題はないか、今後の見通しを伺う。

今後も積極的な要望により財源の拡充・確保に努める

【佐藤町長】 昨年12月に報告

した中期財政見通しのとおり、景気低迷による町財政収入の大額から平成15年度予算編成に当たっては要求ベースで多額な財源不足が生じていた。

予算編成方針では、「健全

な財政運営」を基本に、歳出面では市町村合併を念頭におき、「真に必要で効果的な施策の展開」、「後年度負担の縮小」、「補助金の整理合理化」などの項目、歳入面では「的確な財源の捕捉」、「住民相互間での負担の公平」などの項目を掲げ、重点的に取り組むよう指示をしてきた。

幸い、予算編成では、経常的経費の削減や効果的な施策の選択など職員が一丸となつて取り組んでくれたこと、さらには皆さんのご理解、ご協

また、合併協議会で諸問題について協議されていくが、新市として合併することになれば、このような財源不足は



力によって財政調整基金の取り崩しも最小限に抑えることができた。

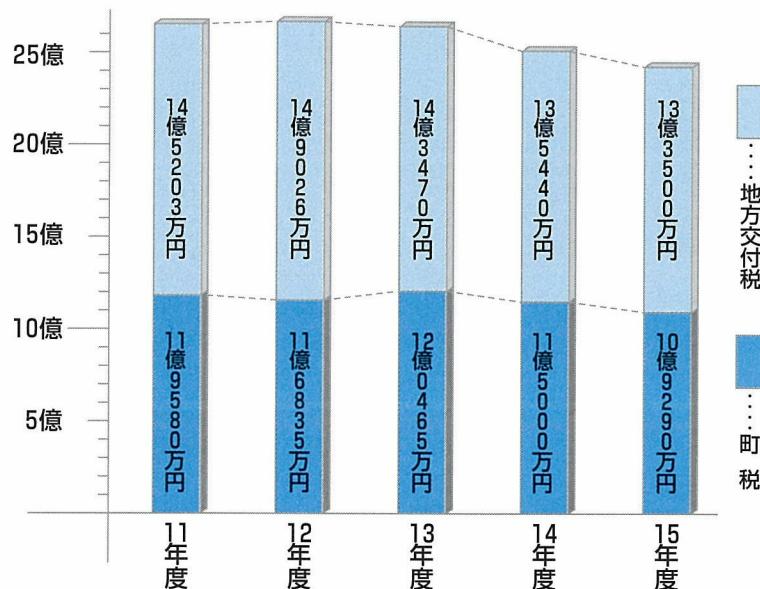
また、住民サービスの低下を招くことなく経費を節減することには限界がある。福祉、教育を始めとしてどうしてもやらなければならることは数多くあり、その分、投資的な建設事業等に充てる財源が少なくなることになり、財政

運営上、一番苦しい問題である。自主財源が苦しい時こそ、その他の財源を確保し、これを求めることは行政運営上当然の責務であり、特に力を注がなければならないと考えている。

今後も積極的な要望により財源の拡充・確保に努めていく所存である。

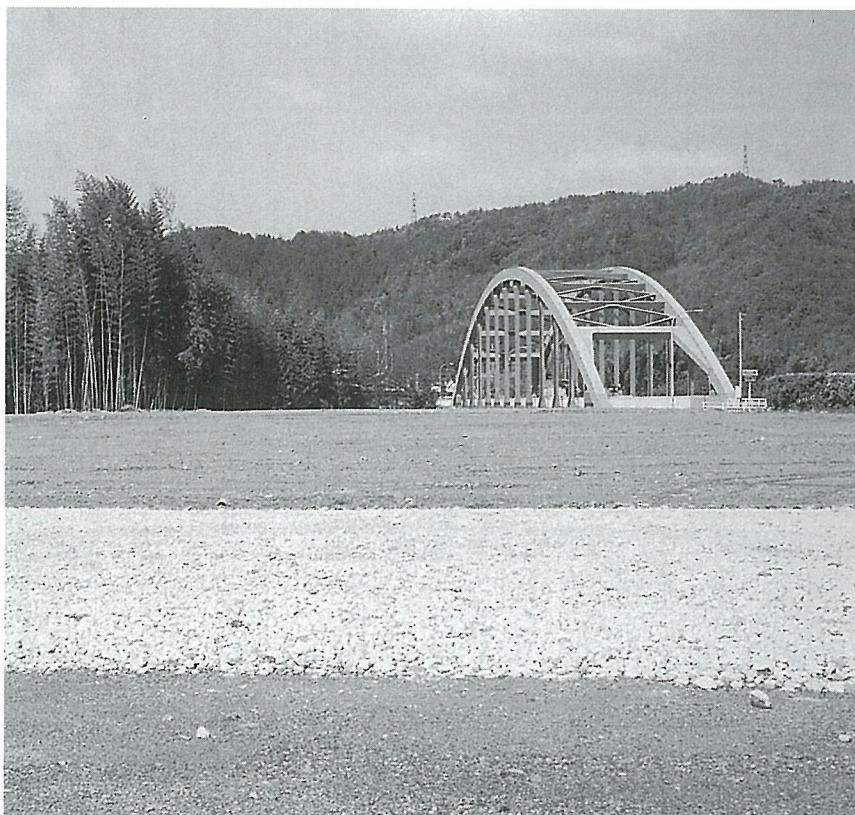
合併後の財政上の問題につ

町税、地方交付税収入状況



※注意 1) 平成11年から13年までは決算額、14年度については決算見込額、15年度は当初予算額。
2) 地方交付税収入額に、平成13年度、14年度、15年度は臨時財政対策債に振り替えられた額を加算している。

いては、今後の合併協議会で協議が行われることになるが、各種の財政支援措置があり、さらに合併に伴う行財政改革の効果も期待されることから、合併後の新市においても健全な財政運営が可能であると考えている。



ダム湖に隣接する工場跡地（比久見地内）



鈴木朝典議員

【鈴木議員】3月議会において各町村の議決により、美濃加茂市及び加茂郡7か町村の法定合併協議会が設置され。合併に対する具体的な協議が今後されていくが、各町村にはそれぞれに古い歴史、文化、教育、経済、人材的財産と自然環境を有している。このすばらしい財産を壊すことなく将来に発展的な継承をしていくことが肝要である。

当町には他町村にない、美しい環境に恵まれたダム湖があり、これをもつと有效地に活用しなければならないと思う。

2月27日に川辺がボート王国

であることをテレビで放映され良いPRとなつたが、国体を誘致するためにもボート関連施設の拡充が必要で、ダム湖隣接の民間工場跡地取得計画を具体化するべきと思うが、町長の考えを伺う。

町単独での取得は財政的に困難

【佐藤町長】川辺ダム湖を中心としてまちづくりの展開を図りポート王国として川辺町の名を全国に情報発信することは、町の活性化、発展に大きな力になるものと確信している。それにふさわしい環境整備を推進するために、懸案であつたダム湖左岸周辺工事に着手した。

ダム湖隣接の民間跡地の取得については、道路アクセス、環境、景観面で良好な場所であり、公共施設を配置するには有効な土地であることは認識している。しかし、当該土地には県関係施設の誘致要望をした経緯もあるが現時点では具体的な計画もなく、町単

独での用地取得には巨額の財源が必要であることから困難な状況である。現在計画中のダム湖周辺整備事業左岸計画の遊歩道整備が町の活性化、地域のふれあいの場、憩いの場として利用が図られるよう取り組んで行きたい。



設置されている山川橋照明



大脇久男議員

山川橋の照明工事後の管理体制と財源の有効な用途を

【大脇議員】13年12月に工事費183万5400円をかけて、山川橋の照明工事が行われたが、次の4点について尋ねる。

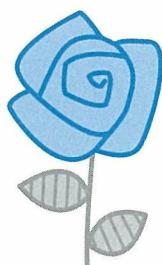
(1) 現在の状態を確認しているか。

(2) 照明設置工事に關してどのように調査をし施工したのか。

(3) 設置して1年もたたないのに故障をしているがどうしてか。

(4) 修繕の予定と、その方法は。

また、工事費が多少高額になつても後々責任を持つ仕事をすることが大切であるが、工事方法に問題はなかつたか。



一般的には故障はしないが、故意に壊された状況である。現在修繕方法を検討しているが、橋の強度等安全を維持するためには、現在の器具を利用して、最も良い修繕方法を考える。

橋の強度の安全性を考慮して照明の修繕をする



町内に点在する遊休農地



平岡久茂議員

**遊休農地の利用計画の
義務づけ制度導入への
対策は**

【平岡議員】国は平成15年度から耕作せずに放置されている遊休農地の耕作を促すため、特に問題のある農地を特定遊休農地として市町村が認定し、所有者等に利用計画の提出を

義務づける制度を導入する方針である。

その制度が施行実施された場合、川辺町に該当する特定遊休農地はどれだけあるのか。

また、その農地の所有者に対する町が指導する義務が生じるが、対策を聞きたい。

**制度導入に向けて農業
委員会等で協議し対策
を図る**

【日下部産業環境課長】制度の導入により、該当する特定遊休農地の見込み数及びその所有者に対する指導義務等については、新聞報道の情報のみで法の改正内容が具体的に示されていないので回答はできない。

なお、制度が導入されると町の農業経営基盤強化促進の基本構想の見直しが必要となることから、農業委員会等関係機関において遊休農地の解消対策を協議していきたい。

**営農組合才ペレーター
の人材確保と育成対策
は**

【平岡議員】農業従事者の高齢化と若者の農業離れに伴い、営農組合に農地の管理等委託する農家が年々増加している。現在、営農組合では年間約60

ヘクタールの委託を受けていますが、オペレーターの高齢化に伴う後継者確保も困難な状況により農業従事者の高齢

**健全な運営について助
言をしていく**

況である。行政としての対応と支援について伺いたい。



営農組合の大豆コンバインによる収穫（中川辺地内）

【日下部産業環境課長】本町

の農業は、農業後継者の農業

離れにより農業従事者の高齢

化が進み、自己完結型の農業から営農組合への作業委託が求められている。

営農組合オペレーター後継者の確保については組合委員の中でも危機感を持っており、営農組合、農協、行政による話し合いの中で定年退職者の登用、作業環境の改善、大型機械取り扱い講習会の実施等協議を行っている。

今後も、営農組合の健全な運営について助言をしていきたい。

中央公民館にエレベーターの設置を

【平岡議員】 中央公民館は、町民の文化、教養の場として、各種行事、体験学習、サークル活動と様々な利用がされているが、高齢者、身体障害者など特に車椅子の方や足の不自由な方々の階段の昇降は厳しいものである。福祉施策としてエレベーターの設置を早くにできないか。方針を尋ねる。

【横田教育課長】 大阪府の小学校で多くの児童が殺傷された事件以来、学校では外来者に対し用件を確認するなどチエックを徹底している。

補助事業等も研究し前向きに検討する

【加藤教育長】 利用者の実態から見て必要性は認識している。福祉、介護関連の補助事業など財源確保も含めて設置に向け前向きに検討する。

教職員に児童を守るホイッスルの携帯をさせては

【平岡議員】 子供の安全確保の一環として、危険発生時に異常を急報する装置（防犯ホイッスル）を全教職員に携帯させることも一考であるが、導入について考えを伺いたい。



新学期も始まり新1年生の先輩として、がんばって勉強しています。
(川辺北小学校 2年生授業 4月)

また、PTAや地域住民の方々に不審者の発見と通報の協力をお願いしている。小学校の新一年生には、毎年防犯ブザーを購入し配布している。

教職員に危険発生時の異常を急報する装置等については導入を検討したい。

議会報は、議員3名と議会事務局との素人編集人でまとめてあります。「わかりやすく」が基本です。

一般質問は、紙面の都合で要約しています。

住民登場の記事は、一方通行にならない為にも皆様の自主的な投稿をお待ちしています。

いつも表紙の写真は何にするかが課題です。今回は「子育て支援センター」です。若いお母さん方の「ふれあい」で親子のお友達を多く作ってください。お気軽にどうぞ。

児童館は、学校週休2日制の受け皿にもなります。楽しい時間、異学年のふれあいの場もあります。イベントにも参加させましょう。

3月議会の傍聴者は、11名でした。傍聴により行政と議会をチェックしてみてください。（6月議会は現議員の任期最後の定例会です。）

厳しい予算で議会報も表紙は多色、記事は2色刷りとしました。中身では行政サービスの低下にならないよう努力いたしました。

(M)